

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

先々週お話をしたダイエットについての話は、結構評判が良くて、たまたま私がこの5・6ヶ月で10kg位、1ヶ月に2kg位い痩せたのですが、どうやって痩せたかというお話をさせていただきましたら、何人かの方々から面白かったという感想をいただきました。

先週は、長崎の中学1年生が4歳の小児を殺害した事件を、開倫塾でおこなったアンケートをもとにお話させていただきました。その後、渋谷では小学校4年生が監禁されてしまうという事件があり、毎週毎週いろいろな事件がおきました。その様な事件につきましては、開倫塾のホームページ([www.kairi.co.jp](http://www.kairi.co.jp)の林明夫のページ)に、この放送でお話した内容を後から訂正して入れていますので、ぜひお読み下さい。林明夫だけでも検索できます。1週間に2～3回訂正していますので、よろしかったらぜひお読み下さい。

私は毎週毎週、色々な勉強会に出ているので、皆さんが知らない様なことも聞くチャンスがあると思います。そこで勉強させていただいた事はなるべく皆さんにお伝えしていこうと思います。

私は東京・栃木・群馬の3つの経済同友会に入っています。先日7月11日に東京の経済同友会で、「教育の将来ビジョンを考える勉強会」がありました。「我が国の教育の課題」というテーマで、元文部省の事務次官、小野もとゆき先生、現在は日本学術振興会の理事長をなさっておられますが、非常に熱心に教育改革を進めたいとおっしゃっていました。そのお話の中に、思い知らされたことがありました。

実は、今回の教育改革の大テーマは「学習指導要領」です。ようするに教科書の内容ですね。これが最低基準であるか、到達目標であるかという議論が出ました。当初、文部省は到達目標であるとし、教科書に書いてある内容を教えさえすれば、学校での仕事は全部終わりなんだ、日本国民として充分なんだ、という考えを持っていたようですが、さきほどの小野先生のお話によりますとそうではなくて、学校の教科書、学習指導要領は学校で教える最低基準であるとのことでした。もし、これが本当であれば大変な話です。数多くの学校の先生、お父さん、お母さんなどの保護者の方、それから小学

校の児童、中学校の生徒、高等学校の生徒さんは、教科書さえ勉強していればいい、それが到達目標である、ということで今までやってきたわけですが、それが最低基準であるなら、もっと勉強しなくてはならないことがあるのではないかとということです。誰もが最低基準はクリアしなければならないという考えで精一杯やっていたら、ただ能力に余力のある人は、最低基準ですから、できればもっともっと勉強した方が良くと思います。

例えば、フランスの中学生、高校生の歴史の教科書などは、日本の歴史の教科書より約7倍もの分量があります。日本よりとても詳しい内容で勉強するわけです。ですから歴史を勉強するにしても、学校の教科書の内容は最低基準であると考え、もっともっと深く勉強したいと思う人は勉強しても良いのです。それから私は憲法を勉強したのですが、政治・経済の公民などを勉強する場合も、公民の教科書に書いてあるのは最低基準なので、もっともっと勉強して下さい。もちろん数学ももっともっと勉強していいわけです。算数ももっともっと勉強していいわけです。言いかえれば、学力というか余力のある人には、学校の先生がその余力に応じて、もっともっと教えなければならないということでもあります。栃木県は就業人口の50%の方が2次産業に従事しています。特に、これから先、本当に宇宙航空機産業や車産業などのエンジニアになりたい人は、小学校、中学校、高等学校の教科書レベルの勉強をしていたのではなかなかおいつかない。もっと勉強した方がよいことは山ほどあります。余力のある方は、学校の教科書、つまり学習指導要領は到達目標ではなく最低基準であることを思い出して、思い切って誰に遠慮することなく勉強して下さい。

今日はたまたま、東京経済同友会の教育の将来ビジョンを考える委員会に参加させていただき、元文部省の事務次官、小野もとゆき先生から学習指導要領、つまり教科書の内容は到達目標ではなく最低基準を示すものである、というお話をお聞きしましたので、みなさんにお伝えしました。

遠慮することなどないですから、余力のある方はどんどん勉強して下さい。ただ精一杯の方は、せめて教科書は最低基準ですのでクリアしていただけるようお願いいたします。夏休みが復習のよい機会になります。

車を運転されている方、高速道路を運転されている方、くれぐれも追突しないよう注意して下さい。